



紫陽花のきれいな季節になりました。天気がいい日は長久保公園での虫探しが子どもたちの今のブームになっています。天候の変化が多いこの時期ですが、雨の日でも室内で身体をうごかしたり、制作などの遊びを通して様々な体験を楽しめるようにしていきたいと思います。



今月は着脱についてお伝えしたいと思います。2～3歳児くらいになると身の回りのことを「自分でやりたい!」という気持ちが現れ、意思や欲求を言葉で伝えられるようになります。しかし時にはできないことへの戸惑いなどからイヤイヤが起ることもあります。そこでうさぎ組では子どもたちがどのように頑張っているのか、大人がどのように支援をしているのかをご紹介します。

午前の活動のあとTシャツ・ズボン、汗をかいたときには肌着を着替えています。

★Tシャツ・肌着

子どもたちには、脱ぐ時には服が裏返しにならないように袖を引っ張って腕を抜くことを伝えています。はじめは大人が袖を引っ張って子どもが腕を抜きやすいようにすると自分でも服を脱ぐ事ができています。服を脱いで「半分こ」と畳める子には声を掛けて大人と一緒に畳んでから汚れ物のカゴに自分で入れています。次に服を着る時には、服の絵柄などを用いて前後の向きを伝え、自分で服の裾をもって頭から被れるように渡しています。声掛けの際には、具体的にどの部分を持つか知らせたり、出来ている所を具体的に褒める、やろうとしている時には励ましたりしながら自分で出来るように支援しています。難しい時には「やって」「手伝って」と大人に伝えてくれるので一緒に行っています。

★ズボン

前後の向きを知らせ広げて置いてあります。子どもたちは座ってウエストの部分を持ち、片方ずつ足を入れて履いています。ズボンがお尻で引っかかることもあるのでその時にはズボンの後ろを引っ張ってみることを伝えています。大人が見本を見せると自分でもやってみよう!と頑張っています!!

★靴・靴下

靴下はつま先を入れたあと靴下を引っ張るよう繰り返し伝えています。汗をかく季節になっているので少しゆとりのある靴下だと履きやすいようです。自分で靴を履けるお子さんが多くなってきました!難しい時には大人と一緒にゆっくり支援しながら、具体的にやり方を言葉で伝えるようにしています。あわせて左右があることも伝えています。月に一度の身体測定を見ていると成長していますね。今一度お子さんの靴や靴下のサイズの確認をお願いします!

服やズボンなどの着脱は日々の積み重ねで培われます。園では、子どもたちの「自分でやりたい!」という気持ちを大切にしながら時間がかかることもありますが、最後まで見守り励ましながら支援しています。また洋服についても、自分で着脱がしやすいように少しゆとりのある脱ぎ着しやすいデザインのものでおすすめです。ぜひ、おうちでもお時間があるときには、お子さんの着脱を見守り、頑張っている姿をたくさん褒めてくださいね!

